

第2回検討会における今後の論点（案）と新水道ビジョン構成イメージとの対応（1／4）

参考資料-2

第2回検討会における今後の論点(案)		3つの観点			新水道ビジョン構成イメージとの対応
分類	内容	持続	強靱	安全	
0. 将来の事業環境					
	①人口構造の変化(少子高齢化に伴う人口減少)	◎			2-2 水道サービスの持続性は確保されている
	②人口減少や節水による給水量の減少	◎			2-2 水道サービスの持続性は確保されている
	③施設の老朽化、更新需要の増加	◎			2-2 水道サービスの持続性は確保されている
1. 水道サービスの持続性の確保(水道の運営基盤の強化)					
1-1 施設整備及び技術基盤の強化	主に、施設整備及び技術基盤の強化の視点から見た水道の運営基盤の強化のあり方	◎			—
①人口減少や節水による給水量の減少		◎			2-2 水道サービスの持続性は確保されている
②都道府県における広域化の取組み		◎			4-1 信頼され続ける水道
③水道事業体と民間企業による官民連携の取組み		◎			4-3 横断的な実現方策 2) 官民連携
④施設の老朽化、更新需要への対応	⇒アセットマネジメント	◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 4) アセットマネジメント
	⇒更新施設の仕分け(マイクロマネジメント)	◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 4) アセットマネジメント
	⇒維持管理しやすい施設へ	◎	◎	◎	検討要
⑤省電力型・省エネルギー型水道施設への再構築		◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 7) エネルギー対策
⑥職員数(特に技術職員)の減少、技術力の低下	⇒技術職員確保のための取組(研修体制、職員の再雇用、委託の拡大等)	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	⇒広域化の推進(最適な広域化の程度・体制、各地域における広域化のリーダーシップ)	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	⇒官民連携の推進(DBO、PFI、指定管理者制度等の活用、第三者機関による委託業務の審査の仕組み／制度等のあり方)	◎			4-3 横断的な実現方策 2) 官民連携
	⇒各種手引き・ガイドライン等の活用	◎			検討要
	⇒産官学による技術開発の推進	◎			検討要
⑦マニュアルやハンドブック等の整備による標準化への取り組み		◎			検討要
⑧中小規模水道事業体の強化	⇒大規模事業体による中小規模事業体への技術的・人的支援(財政支援、マニュアル等の情報提供を超えた職員研修、人材派遣、技術協力等)	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
⑨広域的な水道施設の再構築・広域化	⇒周辺事業体との連携による水道施設の広域的な再構築(水需要量に応じたダウンサイジング、効率	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	⇒地域において中核となる水道事業体のリーダーシップの醸成	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	⇒広域化の検討手順、現状評価、業務の共同化、経営の一体化、事業統合の検討の視点の周知	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
1-2 特に経営面から見た持続可能な事業運営のあり方	主に、経営面から見た持続可能な事業運営のあり方について審議する。	◎			—

第2回検討会における今後の論点（案）と新水道ビジョン構成イメージとの対応（2／4）

参考資料-2

第2回検討会における今後の論点（案）			3つの観点			新水道ビジョン構成イメージとの対応
	①地方公営企業会計制度の見直しへの対応		◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	②施設の老朽化、更新需要への対応	⇒アセットマネジメント	◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 4) アセットマネジメント
		⇒資金の確保	◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 4) アセットマネジメント
		⇒更新施設の仕分け(ミクロマネジメント)	◎	◎	◎	4-3 横断的な実現方策 4) アセットマネジメント
	③水道料金のあり方	⇒適正な料金水準	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
		⇒資産維持費の所要額の検証と必要性に関する理論強化	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
		⇒資産維持費が不足する場合の新たな算定方法の検討(長期的なスパンから見た料金設定)	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	④地下水利用専用水道等への対応	⇒水道と専用水道の二重利用者に対する望ましい水道料金等のあり方	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
2. 安全な水の確保						4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	①有害物質、有害生物対策のあり方	⇒水安全計画のあり方、普及促進			◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	②特に貯水槽水道など小規模水道の管理				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	③飲用井戸等の管理強化				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	④水道未普及地域・者への対応				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	⑤給水装置・給水工事の信頼性確保・鉛製給水管				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	⑥直結給水と受水槽の位置付けの再整理(安全でおいしい水、災害時の水の確保)				◎	検討要
	⑦水質検査精度管理の徹底				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
	⑧水道水源保全の取り組み				◎	4-2 目指すべき方向性とその実現方策 1) 安全な水の確保
3. 危機管理の徹底						
3-1 東日本大震災を踏まえた震災対応		東日本大震災における復旧支援活動、東日本大震災水道復興支援連絡協議会及び東日本大震災水道施設被害状況調査での検討結果を踏まえての、大規模自然災害に対する今後の取り組み		◎		—
	①耐震化の推進など事前の備え	⇒基幹施設・基幹管路の耐震化の推進		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒管路(場内配管、配水管等)の液状化対策		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築

第2回検討会における今後の論点（案）と新水道ビジョン構成イメージとの対応（3／4）

参考資料-2

第2回検討会における今後の論点（案）			3つの観点			新水道ビジョン構成イメージとの対応
		⇒レベル想定地震の見直し		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	②応急給水			◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	③応援体制の強化による初動及び復旧の迅速化	⇒事業継続計画（BCP）の策定推進		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	④広域的な被災時への対応	⇒非常時の通信手段の確保		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒事業体と行政部署との連携の強化		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒広域的な支援体制の構築、受入れ体制の事前準備		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒資機材、薬品の備蓄、生産確保		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒事故対策の想定範囲の見直し		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	⑤津波への対応			◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
3-2	その他の危機管理	地震以外の渇水、風水害等の自然災害、水質汚染事故、エネルギー（電力）の逼迫への対応等の危機		◎		—
	①水道水、浄水発生土の放射性物質対策			◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	②風水害、津波への対応			◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	③渇水、水質汚染事故、テロ等への対応			◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
	④エネルギー（電力）の逼迫への対応	⇒短期的には、非常用発電設備の充実、燃料の備蓄		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
		⇒中長期的には、電力の安定供給の確保を考慮した事業への転換	◎			4-2 目指すべき方向性とその実現方策 2) 持続性の確保
	⑤貯水槽水道、地下水利用専用水道等への対応	⇒危機管理面の視点から		◎		4-2 目指すべき方向性とその実現方策 3) 強靱な水道の構築
4.	住民等との連携	住民目線での水道事業に対する要望を共有化したうえでの住民参加型の事業運営への取り組み				—
	①住民等との連携のあり方	⇒水道水に対する信頼性の向上（直接飲用、学校等における水道教育の充実）	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携
		⇒水道事業者と需要者間のコミュニケーションの充実	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携
		⇒災害時を想定したリスクコミュニケーションの充実	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携
		⇒水道事業への住民参加、情報提供	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携

第2回検討会における今後の論点（案）と新水道ビジョン構成イメージとの対応（4／4）

参考資料-2

第2回検討会のける今後の論点(案)			3つの観点			新水道ビジョン構成イメージとの対応
	②情報提供のあり方	⇒情報提供の内容	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携
		⇒情報提供の効果を把握する方法(モニタリング)	◎			4-3 横断的な実現方策 3) 住民との連携
5. 国際展開の推進		国際展開に関する国家戦略を踏まえて、ODA(JICA等を含む)等を通じた国際協力と水ビジネスの関わり				
	①ODAの枠組みによる国際協力					4-3 横断的な実現方策 8) 国際展開
	②水道における国際協力と水ビジネスの位置づけの明確化					4-3 横断的な実現方策 8) 国際展開
	③今後の水ビジネスのあり方					4-3 横断的な実現方策 8) 国際展開
	④国際展開のための官民連携の推進					4-3 横断的な実現方策 8) 国際展開
6. 国・都道府県・水道事業者等の役割分担と連携						
	①国					1-1 新水道ビジョンの目的
	②都道府県等の衛生部局・保健所等					1-2 都道府県水道ビジョン
	③水道事業者、専用水道の設置者等					1-3 事業体水道ビジョン
	④都道府県水道ビジョン、水道事業者ビジョンの位	⇒地域特性を考慮した水道ビジョンの推進				1 新水道ビジョン
	⑤民間企業(整備、維持管理等)					検討要
	⑥研究機関等					検討要